

高田派専修寺関東別院 都内の「NPO」と提携

独居老人の心の支えに専用携帯電話



仏事・悩み：相談で交流

東京都大田区の高田派専修寺関東別院(山中俊之輪番)はこのほど、独居高齢者を支援する都内のNPO法人と提携し、「愛こむほ」の携帯を手にする本庄代表理事

「一人と人をつなぐ会」(本庄有田代表理事)を介して、高齢者の仏事や悩み相談に応じるボランティアを始めた。NPO側は葬儀や供養など死後のケアにも期待している。NPO法人は新宿区

「一人と人をつなぐ会」(本庄有田代表理事)を介して、高齢者の仏事や悩み相談に応じるボランティアを始めた。NPO側は葬儀や供養など死後のケアにも期待している。NPO法人は新宿区

がでる。利用者は首都圏の約二百人を始め、全国に約三千四百人いるという。コールセンターは仏事や信仰、悩み事に関する相談などを受けた場合、内容によって専修寺関東別院と相談者との間を取り持つことになっている。別院側は常時、十人ほどの職員が対応するとしている。

山中輪番は「お年寄りの孤独死の前に心配事を一つ一つ取り除いていきたい。昔々お寺に抱いて交流金を開くことも考えている」と話す。本庄代表理事は「高齢者の話し相手としてお坊さんは適任。お寺ならではの後のケアも考えてくれる」と言う。「ほかの寺院にも協力してほしい」と呼び掛けている。同会は電話(03)5330-3795。

「愛こむほ」の携帯を手にする本庄代表理事